

RFL 関西実行委員会 2026 年2月度定例会 議事録

日 時:2026 年 2 月 1 日(月)13:00~17:30

場 所:シンコースポーツセンター(芦屋市立青少年センター) 多目的研修室

出席者:加藤、城村、(以上2名 ZOOM 参加)、東崎(ヨーヨーのこうちゃん)、中西、川崎、須天、高岡

進 行:須天 ・ 記 録:須天、高岡

～テーマ:2026 年度 あらたな年度の準備作業～

0. 前回以降の振り返り

(1)前回議事録の確認

- ・特記事項なし。

(2)サミット・キックオフに向けて

- 20 周年という節目の年であり、1 日目にサミット＆キックオフを集約する案を想定。
- 2 日目の構成については、現時点では具体像が描けておらず、今後詳細がわかれれば共有する。

(3)プチ MTG(1/27) の実施報告

- Zoom 開催／参加者 7 名。
- 工程表や議題案について意見交換を行い、本定例会の議題案を作成。

(4)前回以降の調整・決定事項

- ヘアドネーション
gram+ (着能)訪問。昨年同様、対応人数は 4 名程度が望ましいとのこと。
→ 枠を増やす場合は一般公募も含め検討(松村氏了承のもと、継続検討)。
- 商工会
会長は今期も続投予定。5 月頃に挨拶予定。
- 県立国際高等学校ボランティア部
顧問の先生へ連絡済み(中西)。
募金活動は金銭を扱うため、必要な手続き・ライセンス確認が必要。
→ 2/5(木)学校訪問し RFL 説明予定(須天)
- 助成金
リードあしやの紹介により、NPO ツルハ医療・介護サービス協会奨励金(上限 20 万円)申請済み(城村)。

1. 実行予算と合意書締結に向けて

(1)決定・確認事項

- 行政後援・協賛申請に向け、予算書を更新。
 - 収入:増収を目指し具体策を検討
 - 支出:必要最低限とし、引き続きコストダウン検討
- NPO 法人化の提案も出たが、協会との合意書締結は実行委員会(任意団体)のみとなっていることを確認。

(2)今後の対応

- ・ 今回内容をもとに予算書を確定させ、4月の協会トレーニング～合意書締結に向けて準備を進める。

2. 地元参加者を増やすためのアイデア(担当:城村)

(1)主旨・方向性、議題提起の背景

- ・ 芦屋開催の強みを活かすとともに、がん検診・健康への意識喚起につなげたい。
- ・ 新規参加者が増えなければ継続が難しく、参加者増加は必須課題、そのために地元参加者の参加をはかりたい。

(2)検討事項

- ・ 「地元」の定義を芦屋限定にせず、全国から参加できる場づくりも視野に入る。
- ・ 対象とそれへの訴求方法、整理(なぜ、この人たちに訴求したいのかを深堀り、方法をマトリックスで検討)
 - ①スタッフ・ボランティア
 - ②支援者
 - ③サバイバー・ケアギバー

※マトリックスで検討：縦軸に対象となる①スタッフ、②支援者、③サバイバー・ケアギバーを記載し、横軸にa)なぜこの人たち訴求したいのかの理由、b)主としておられる場所の特性、c)そこに訴求するために有効な手段と項目を記載、それぞれの重なるマス目について議論をし、その意味を深堀りするとともに限られたリソース(資源)の中で有効かつ効率的な手段を検討する

(3)アイデア案(地元への訴求方法、検討中)

- ・ JR 芦屋ペデストリアンデッキでのプチ RFL 開催
(ポスター掲示、チラシ配布、ルミナリエバッグ設置等)
※人的リソース(資源)・夜間開催の可否を含め要検討。

(4)留意点

- ・ 「検診率」という言葉が独り歩きしないよう配慮が必要(検診により逆に理不尽を感じた方もいる)。
- ・ 「健康診断・検診について考えてみませんか」という問い合わせ型の発信を検討。
- ・ 立場の異なる方の声を動画化し、本番までの動線として活用する案を継続検討。

3. 交流企画について(担当:高岡)

(1)交流プログラム全体の考え方

- ・ 例年の構成を再確認した結果、大幅な変更案は出ず(場合によってはプログラムを減らすことを含め継続検討)。

(2)タッチカウンセリング協会への説明

- ・ 現時点では未着手。今後対応。(城村、須天で対応)

(3)企画検討の前段階として(継続検討)

- ・ 交流ボランティアの一般公募を検討。
- ・ 適した人材像を整理し、協力者候補のリストアップを行う。
- ・ 5月頃までに工程を確定。
- ・ 可能であれば、3月定例会・4月トレーニングへの参加を依頼。
- ・ 動画・HPで公募検討中であることを発信。

4. にぎやかし企画の具体化

確認・検討事項

- ・ 商工会や芦屋新世会などへの説明は個別に進める。
- ・ 飲食提供の可否について、指定管理者(シンコースポーツ)・芦屋市へ先に確認。
- ・ ヘアドネーションは、gram+松村氏1名対応では4名が限界。
→ 枠拡大の場合、協力者募集を検討。

5. ステージ関係

決定・検討事項

- ・ 詩の朗読：山本スギ乃さんに依頼検討。
- ・ MC：白紙（継続検討）。
- ・ メインステージ：昨年に引き続き、singerKOZさんに依頼検討。

6. キャンドル・ラン募集

(1) 募集方針・スケジュール

- ・ GW明けより先行募集開始予定。
- ・ 自動計測は昨年同様実施とする。
- ・ 先行募集価格を設定する。
- ・ 昨年参加者へメール案内する。
- ・ 学校教職員や地元芦屋周辺のランチームへの訴求を検討。

(2) 受付方法

- ・ 現在使用のinfoメール：実働メンバー4名に設定変更。
- ・ あらたなinfoメールの試験運用を開始、Gmail(新グループ)、受信や送信について新設定をテスト中。
- ・ 問い合わせ返信は個人アドレス対応を継続する方向とする。
- ・ 専門サイト(スポーツエントリー等)の利用は費用面と効果を客観的に分析し検討。
- ・ お友達割引、フォーム活用など参加者増施策を継続検討。

7. ロゴ作成と今後のグッズ展開

- ・ ロゴ募集のお知らせについて、HP、YouTubeで発信、SNSで拡散する。

- 募集期間延長の可能性あり。

8. 実行委員会運営・2026年体制

(1) 体制(確認)

- 実行委員長:城村
- 会計:川崎、須天、高岡
- 広報:公式SNS(Facebook:城村、須天/X:高岡、須天/Instagram:須天、高岡)にかかる人員を拡充
- 広報連携:HPを軸とし、YouTubeが補足、それぞれへの導線をSNSで強化

(2) その他

- 鈴蘭台倉庫に代わる保管場所検討。
西田氏より会社倉庫一部利用の提案あり。
→ 城村と具体打合せ予定。

9. イベントイメージづくり

- 昨年アンケート(内部・外部)を参考し検討。
- 「高島市長と歩く権」について今年も実施する方向で準備。

ToDo一覧

内容	担当	期限
県立国際高等学校訪問・RFL 説明	須天	2/5
予算書確定・合意書準備	実行委員会	4月まで
交流ボランティア工程確定	高岡	5月頃
飲食提供可否の確認	城村、須天	早期
キャンドルラン募集準備	実行委員会	GW 明け

以上

以上